熊本県高等学校珠算・電卓競技大会

平成２９年５月改正

**１　基準**

作問及び採点は全国商業高等学校協会主催珠算・電卓実務検定試験に準じる。

ただし、１級部門は、全国高等学校珠算・電卓競技大会レベルの問題を３問程度含める。

①　各校において参加者の実力を判断し、検定を取得していない場合でも各級自由に参加できる。ただし、検定取得級より下回った級への参加はできない。

②　団体戦において各級１チーム３名以上５名以下とし、各学校成績上位３名の合計得点

を団体成績とする。３名未満の学校は、個人競技の参加とする。

ただし、珠算の部については、人数制限をしない。

③　参加者は、出場申込時に「出場級」と計算用具「算盤・電卓」のいずれかを必ず申請する。また、珠算と電卓の両方への同時参加は認められない。

**２　競技**

申込時の計算用具を使用し、珠算の部、電卓の部ともに総合競技を乗算・除算・見取算・応用計算で行い、種目別競技は、読上算を行う。

　　個人成績および団体成績において合計得点が同じ場合、応用計算の得点が高い者を上位とみなし、応用計算の得点も同じ場合は同点決勝を行う。

　　総合競技　　普通計算（乗算１０問・除算１０問・見取算１０問）

珠算１２分・電卓　６分

応用計算（１５問）

珠算１５分・電卓１５分

　　　　　　　珠算の部開始６分後に電卓の部を開始し、終了時間を同時とする。

同点決勝　　乗算２問・除算２問・見取算２問・応用計算２問の計８問を早く正確に解答した者を上位者とする。

種目別競技　予選３問の後、決勝を行う。珠算・電卓共通問題を同時に読み上げ、競技委員の判断で問題レベルを変更しながら珠算・電卓の部の各上位者を決める。

**３　配点**

普通計算　乗算・除算・見取算　各１０問　各１０点　　３００点

　　応用計算　　　　　　　　　　　　１５問　各２０点　　３００点　　合計６００点

**４　表彰**

　　総合競技は団体・個人、種目別競技は個人を表彰とし賞状を与える。参加者が少ない場合、受賞者数の変更もあり得る。変更の場合は、当日の打ち合わせ会議で審議する。

総合競技団体　１級部門　優勝　１校　二位　１校　　三位　１校　　計３校表彰

２級部門　優勝　１校　二位　１校　　三位　１校　　計３校表彰

個人　１級部門　優勝　１名　二等　２名　　三等　３名　　計６名表彰

２級部門　優勝　１名　二等　２名　　三等　３名　　計６名表彰

種目別競技 　　 優勝　１名　二等　２名　　三等　３名　 計６名表彰